

開催要項

Japan Volunteer Coordinators Conference

全国ボランティアコーディネーター研究集会2019

JVCC2019 京都

大会テーマ **ボランティアはコマじゃない**

しなやかさ したたかさ
今こそレジリエンスが試される!



大谷大学尋源館
(旧本館)

2019

3/2



10:00～17:00
(受付開始 9:20)
交流会
17:30～19:30

3



9:30～15:30
(受付開始 9:00)

会場：大谷大学（京都市北区）

参加費：一般 12,000 円、JVCA 正会員・準会員 10,000 円 (WEB 早割は各々 1,000 円割引)
※別途交流会参加者 3,500 円 (希望者のみ)

定員：250名 ※締切前に定員に達した場合は、その時点で締切とさせていただきます。

申込締切：2019年2月1日(金) << 17:00必着 >> WEB早割は1月25日(金)締切

平成30年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

主催 ● 全国ボランティアコーディネーター研究集会2019 京都 実行委員会
認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会 (JVCA)

共催 ● 大谷大学

後援 ● 社会福祉法人京都府社会福祉協議会、社会福祉法人京都市社会福祉協議会、公益財団法人京都市国際交流協会
公益財団法人京都市環境保全活動推進協会 (京エコロジーセンター指定管理者)、近畿地方ESD活動支援センター
社会福祉法人全国社会福祉協議会、社会福祉法人中央共同募金会、認定特定非営利活動法人日本NPOセンター
認定特定非営利活動法人国際協力NGOセンター、公益財団法人日本YMCA同盟、一般財団法人自治体国際化協会
一般財団法人児童健全育成推進財団、一般社団法人環境パートナーシップ会議、ESD活動支援センター
認定特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会、特定非営利活動法人日本病院ボランティア協会

問い合わせ 全国ボランティアコーディネーター研究集会2019実行委員会事務局 (NPO法人ユースビジョン内)
〒603-8142 京都府京都市北区小山北上総町43-4 相井ビル2階 TEL.075-286-3400 FAX.075-320-3714
Eメール: jvcc2019@youthvision.jp ウェブサイト <https://jvcc2019.jimdofree.com>

開催趣旨

全国ボランティアコーディネーター研究集会 (JVCC) は、有志による手作りの集会として、1994年に誕生して以来、毎年様々な活動分野・団体のコーディネーター及び関係者が実行委員会を組織し、ボランティアコーディネーションの価値を追求してきました。25回目、平成最後となる節目の今回は京都での開催となりました。

今、日本社会では、高齢化や格差の進展により、支えが必要な人たちが増えるなか、国や自治体は財政難を理由に公的支援を拡充できずにいます。一方で、その穴埋めに市民の善意を取り込もうとする動きは広がりつつあります。また、来年に開催を控えた東京オリンピック・パラリンピックでは、コスト削減を意図とした安易なボランティア活用に対し、批判の声も上がっています。このような考え方の下、市民が社会を支えるシステムの一部として組み込まれようとしている現実に対し、ボランティアコーディネーターはどのように向き合えばよいのでしょうか。

今回の研究集会では、「ボランティアはコマじゃない」と警鐘を鳴らすとともに、それをただ憂いたり、嘆いたりするだけではなく、それらの現実と向き合い、市民の想いや力が活かされるシステムづくりへと結びつける「しなやかで、したたかなボランティアコーディネーション」について、みなさんと知恵を絞りたいと考えています。大きな力にあらがう術や仲間をぜひこの集会で見つけましょう。

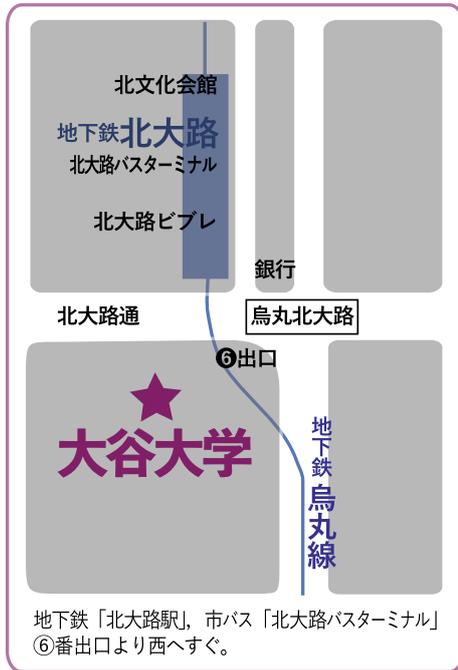
全国ボランティアコーディネーター研究集会 2019 京都 実行委員長 志藤修史
(大谷大学 社会学部長)

参加対象

以下のような分野で実践経験を積んでいる方、分科会のテーマで課題意識を持って参加できる方

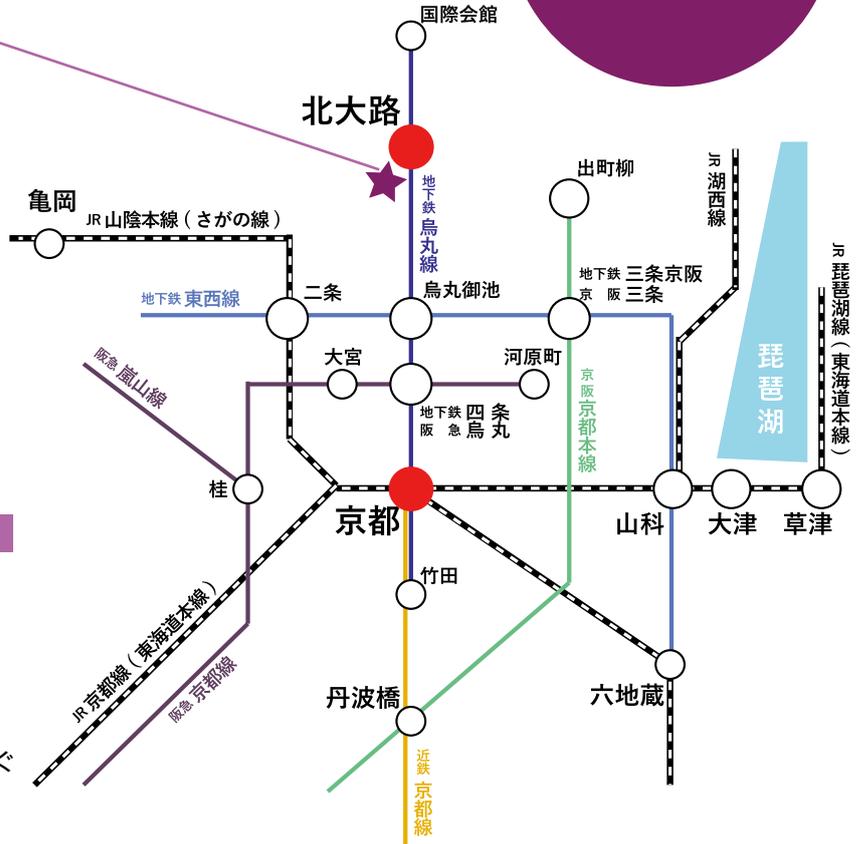
1. 社会福祉・介護、教育、環境、国際交流・協力、まちづくり、災害救援など**様々な分野で活動する NPO・NGO**で、ボランティアの受入れ・活動支援を担当するスタッフ
2. 高齢者福祉施設、障害者福祉施設、児童福祉施設などの**社会福祉施設**で、ボランティアの受入れ・活動支援を担当するスタッフ
3. **病院、医療関連施設**で、ボランティアの受入れ・活動支援を担当するスタッフ
4. 公民館、図書館、博物館、動物園、水族館などの**社会教育施設**や文化ホールなどの**文化芸術施設**、公立公園などの**公共空間**で、ボランティアの受入れ・活動支援を担当するスタッフ
5. 小・中・高校、専門学校、大学・短大などの**教育機関**で、児童・生徒・学生のボランティア学習などを推進している担当スタッフ（教職員、学生など）
6. **企業や労働組合**などで、社員・組合員のボランティア活動参加を支援する担当スタッフ
7. **国・自治体**などで市民や市民活動団体との「協働」の推進または職員のボランティア活動推進を担当するスタッフ
8. **ボランティアセンター、市民活動支援センター、国際交流協会**などのボランティア担当スタッフ、ボランティアコーディネーター
9. ボランティアコーディネーターまたはボランティアコーディネーションの**研究及び研修・養成**に関わっている方
10. **地域の**さまざまな課題を解決するために市民の参加や組織の連携・協働を促進する役割のスタッフ・コーディネーター（コミュニティソーシャルワーカー、生活支援コーディネーターなども含む）

会場案内



ACCESS

JR・近鉄「京都駅」から
 地下鉄烏丸線で約13分



会場

大谷大学

京都市北区小山上総町

TEL. 075-432-3131 (代表)

- 京都市営地下鉄烏丸線
 地下鉄烏丸線「北大路」下車、6番出口すぐ
 (京都駅から乗車時間約13分)
- 市バス
 「北大路バスターミナル」「下総町」「烏丸北大路」下車

※駐車場はございませんので、お車でのご来館をご遠慮ください。
 ただし、身障者用の車の場合は事前にご相談ください。

大谷大学について

大谷大学は、1665（寛文5）年、京都・東六条に開創された東本願寺の学寮（僧侶の教育機関）を起源とする大学です。2018年4月より、文学部、社会学部、教育学部の3学部体制となり、合わせて大学を象徴するメッセージとして、「Be Real 寄りそう知性」を作成しました。

「Real」には二つの「実」の意味を込めます。一つは仏教でいう「真実」です。人間の思慮分別や価値判断が加わる前の世界、真理の姿を指し示す言葉。もう一つは目の前の「現実」です。社会問題や一人ひとりが経験する苦悩など、世の中に現れる具体的事象。そして「Be」は「足場をおく」、「成る」。

「Be Real」とは、真実を立脚地として、世の中の現実を生きていこうという態度を表す言葉であり、また、世の中の現実に向きあいながら真理を探究していこうという姿勢を表す言葉です。真実と現実とにしっかり足場をおいて、本来あるべき人間の姿、あるべき社会を探究し、創造していこうというメッセージが「Be Real」です。

そして「寄りそう知性」。これは仏教の「慈悲」を意味しますが、「Be Real」の学びの先にある「真の知性」を表しています。あらゆる他者の尊厳を奪わないでおこうとする、本当の知性です。仏教の理念に基づく本学においては、どの学部・学科で学ぼうとも、そこで得られる知性は「他者に寄りそう」ものになると信じています。「寄りそう知性」には、そうした願いがこめられています。



大谷大学

Be Real
 寄りそう知性

プログラムの構成

3月1日(金)「前日企画」開催 (オプションプログラム)

3月2日(土)

3月3日(日)

時間	内容
9:20 ~	受付開始
10:00 ~ 12:00	開会・オープニング全体会
12:00 ~ 12:10	オリエンテーション
12:10 ~ 13:30	昼食休憩
13:30 ~ 17:00	分科会A
17:00 ~ 17:30	会場移動
17:30 ~ 19:30	交流会 (有料・希望者のみ)

時間	内容
9:00 ~	受付開始
9:30 ~ 13:00	分科会B
13:00 ~ 14:00	昼食休憩
14:00 ~ 15:30	クロージング全体会・閉会
15:45 ~ 17:30	JVCA 総会

プログラムの一覧

	分科会 No.	分野	テーマ
3月2日(土) 1日目	オープニング		ボランティアはコマじゃない! ~今こそ ^{しなやかさ} レジリエンス ^{したたかさ} が試される~
	A-1	社協・中間支援	ボランティアコーディネーションの経験が貫くキャリアとは “ボラ担”となった経験のその後の活かし方を、先輩の“語り”から考える
	A-2	福祉教育	体験だけで終わらせない!情熱の福祉教育・ボランティア学習 学びの意義と方法と学校現場の今を知って、コーディネーターの極意を手に入れよう!
	A-3	シニア	シニアの心を動かせ! “シニアがボランティアをはじめる=入口”と“地域の活動へつながる=出口”を考える
	A-4	病院	医療施設と地域をつなげるボランティアの可能性 ホスピタルアートの最前線から
	A-5	多文化共生	自分のルーツって何? 外国につながる子どもたちの居場所 いろんなルートからみえるルーツ!出逢いを活かすコーディネーション
	A-6	災害・若者	若者力!今こそ、枠を越えた災害ボランティアをコーディネートしよう! 「いまどき」の学生たちによる自発的な被災地支援活動
	A-7	子ども	子どもを真ん中においた地域のレシピ 子ども支援活動における「まなざし」をひとつにするコーディネートの秘訣
	A-8	ボランティア	ボランティアは「やりがい搾取」? 手配師ではないコーディネーターを目指して!! オリパラボランティアを通じて日常のコーディネーションを検証します
	A-9	基礎研修	施設・団体のボランティアコーディネーション 組織にボランティアを受け入れる基本を身につける
	A-10	基礎研修	中間支援組織のボランティアコーディネーション 「つなぐ」だけでは終わらないコーディネーションの基本を身につける
	交流会		交流会 情報交換・出会いの場です。大いに語り合い、交流を深めましょう!
3月3日(日) 2日目	B-1	福祉施設	「ボランティアを受け入れる」+「住民と協働する」これからの福祉施設へ 京都の先駆的な取り組みから学ぶ
	B-2	若者	若者の心に火をつける! 社会問題を自分ごとに変えるコーディネーションを考える
	B-3	防災	防災からはじめるまちづくり 「みんなの参加」を促すコーディネーション
	B-4	文化施設	文化施設が豊かになる“5つ”のこと 文化施設のボランティアコーディネーションも大変ですよ!
	B-5	企業・環境	企業が参加しやすい活動をコーディネートするコツ 環境保全活動の事例を基に考えよう
	B-6	協働	テンションのあがる↑仕事をするために 組織や活動の持つ「チカラ」をかけ合わせるためのポイントを学ぶ
	B-7	寄付	お金を集めるのに「ボランティアコーディネーション力」が必要なワケ 「あの募金」の仕掛け人を大解剖!「参加の力」でカネを生む?!
	B-8	評価	「評価」の視点から日々の実践を解剖する 私たちは何を目指し、その達成度をどう測るか?
	B-9	ボランティア	もう「やらされ……」じゃない! ボランティアコーディネーション力で、「やって良かった!」に
	B-10	ソーシャルアクション	制度は変えられる、行政は動かせる ソーシャルアクションの視点と手法を身につけよう
	B-11	広報スキル	メディア、ツールを使いこなせ! ボランティアコーディネーションに役立つ広報術
	クロージング		京から響く次代の鐘 ~その鐘を鳴らすのはあなた~
	総会		JVCA2019年度通常総会 JVCA 会員の方はご出席をお願いします。会員以外の方も傍聴できます。JVCA ご入会希望の方はぜひお越しください。

プログラム案内

前日 3月1日

前日
企画

ボランティアコーディネーション力検定1・2級合格者の集い

3月1日(金) 夜

JVCC2019にあわせて、今年もボランティアコーディネーション力1・2級合格者の集いを開催。合格者同士の“顔の見える関係づくり”を進めましょう。今年も「おむすびパーティ」開催予定です。

※時間、場所などはウェブサイト、フェイスブックで告知します。

☺ [担当] 1・2級検定合格者有志

1日目 3月2日

オープニング

ボランティアはコマじゃない!

しなやかさ したたかさ
~今こそレジリエンスが試される~

3月2日(土) 10:00 ~ 12:00

開会・オープニング全体会

今回のオープニング全体会は、市民・事業者・行政のパートナーシップにより、持続可能な循環型社会にふさわしい祭づくりに取り組んできた太田航平さん、社会福祉協議会でのボランティアコーディネーターを経て、現在は、シニア活動推進コーディネーターとして、シニア世代の居場所づくりや社会参加推進に奔走する戸田千登美さん、市民参加による公共施設づくりや子育て コミュニティづくりなどに取り組む中で、「何かをしてみようという気持ちが生まれてくる公共空間とは何か」を問うてきた西川正さんの3人の語り手にご登壇いただきます。

3人の語り手は、分野は異なるものの、いずれの方も、市民の力を信じ、その力が最大限に発揮できる場づくり、仕組みづくりに果敢に挑んでられました。オープニング全体会では、語り手のみなさんの実践を元に、しなやかで、したたかなボランティアコーディネーションとは何かを考えます。

語り手: **太田航平さん** (一般社団法人 祇園祭ごみゼロ大作戦 理事長、特定非営利活動法人地域環境デザイン研究所ecotone 代表理事)
戸田千登美さん (公益財団法人長野県長寿社会開発センター 主任シニア活動推進コーディネーター、認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会 運営委員)
西川 正さん (特定非営利活動法人ハンズオン! 埼玉 常務理事、認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会 理事)



太田航平さん



戸田千登美さん



西川正さん

☺ [担当] 筒井のり子(龍谷大学、日本ボランティアコーディネーター協会)

【前日】

【1日目】

☺☺ 印は担当実行委員です。

A-1 ボランティアコーディネーションの経験が貫くキャリアとは

社協・中間支援

“ボラ担”となった経験のその後の活かし方を、先輩の“語り”から考える

対象 ▶ *社会福祉協議会や市民活動センターなどの担当者 *しんどい思いやジレンマを感じたことのある担当者
*ボランティア担当の経験は、ゆくゆく何になるんだろう?と感じている担当者 *関心のある方なら誰でも

定員30名

ボランティア担当をした経験は、その業務を離れた後にどのようなキャリアに繋がっていくのか、思いめぐらせてみたことはありますか? その後の仕事や人生にどう影響し、直接担当ではない立場になったとしても、どう活かすことができるのか、ボランティア担当の後に、様々なキャリアを辿った先輩の語りから考えていきます。キャリアとは、馬車が通った跡の「轍」という意味。ボランティアコーディネーションの経験が、いかに先輩たちの「轍」に影響してきたのかを聞く中で、ボランティア、コーディネーションに込めたい意味や価値を参加者全員で深めます。

発表者・コーディネーター: 長谷部 治さん (社会福祉法人神戸市兵庫区社会福祉協議会 地域支援課長)

発表者: 戸田千登美さん (公益財団法人長野県長寿社会開発センター 主任シニア活動推進コーディネーター)

土坂のり子さん (特定非営利活動法人きょうとNPOセンター 事業コーディネーター)

☺ [担当] 岡本卓也(まちとしごと総合研究所) / 桐澤夏樹(京都市社会福祉協議会) / 土田恭仁子(宇治市社会福祉協議会)
永松学(京都市社会福祉協議会) / 南多恵子(京都光華女子大学)

A-2 体験だけで終わらせない! 情熱の福祉教育・ボランティア学習

福祉教育

学びの意義と方法と学校現場の今を知って、コーディネーターの極意を手に入れよう!

対象 ▶ *福祉教育やボランティア学習のコーディネートに関わる中間支援組織や施設職員

定員30名

福祉教育、ボランティア学習等、小中学校の体験学習が学校と福祉現場や社会福祉協議会等との間で行われています。しかし、学校からの希望がいつも「昨年通りのプログラム」だったり、体験だけで終わり、体験の「その先にある本当に学んでほしいこと」まで深められない、広げられない、という悩みはありませんか?

子どもたちの「その先」につなげるには、学校との連携がポイントになります。学校教育では、学習指導要領の改訂に伴いアクティブラーニングの導入などの変化があります。そんな今、改めて学校現状を知り、誰とどのように連携・調整していくことが必要なのか、次の一手を考えましょう。

講師・ファシリテーター: 池田幸也さん (常磐大学コミュニティ振興学部 教授)

☺ [担当] 池田英郎(塔南の園児童館) / 奥野佑樹(大津市社会福祉協議会)

A-3 シニアの心を動かせ!

シニア

“シニアがボランティアをはじめると入口”と“地域の活動へつながると出口”を考える

対象 ▶ *シニアと関わるコーディネーター
*地域で活動しているシニアの方々

定員30名

「**人**生100年時代」を迎え、元気なシニアが増加し、個人のライフステージは多様化している。そんなシニアをボランティア活動へと結びつける“入口”とは? そのシニアが地域活動へと向かう活動の“出口”とは何なのか?

シニアの生涯学習にとどまらず、社会課題に取り組むアクティブシニアの心を動かすきっかけを、実際にシニアと関わっているコーディネーターや地域で活動しているシニアの話から探ってみませんか。

講師・コメンテーター: 藤原佳典さん (東京都健康長寿医療センター研究所(東京都老人総合研究所)社会参加と地域保健研究チーム チームリーダー(研究部長))

事例発表者: 吉田哲さん (京都大学大学院 工学研究科建築学専攻 准教授)

馬場信二さん (チーム街コミ 代表代行)

原田優美さん (滋賀県レイカディア大学 事務局)

布施太一郎さん (特定非営利活動法人YORISOI network)

☺ [担当] 笠井咲希(京都市環境保全活動推進協会) / 吉田隆真(京都市環境保全活動推進協会)

A-4

医療施設と地域をつなげるボランティアの可能性

病院

ホスピタルアートの最前線から

対象 ▶ *病院でボランティア受け入れを担当している方 *「医療と地域の連携」を考えたい方
*ボランティアセンターでの活動相談のために病院のことを知りたい方

定員30名

病 院のボランティア活動に“新たな風”を入れてみたいと感じることはありませんか？
この分科会では「四国こどもとおとなの医療センター」の立ち上げ時点からアートコーディネーターとして関わり、様々なプロジェクトを通じて医療と地域の連携を進めてきた森さんに、海外視察での気づきも交えてお話しいたします。

前半の話題提供を受け、後半はワークショップ形式で参加者同士の意見交換をします。今までと切り口を変えてみることで、医療と地域をつなぐ新たな価値をご一緒に創造してみませんか？

講師：森 合音さん（四国こどもとおとなの医療センター ホスピタルアートディレクター）

コメンテーター：後藤麻理子さん（認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会 理事・事務局長）

グラフィックレコーダー：山本彩代さん（特定非営利活動法人場とつながりラボ home's vi）

ファシリテーター：竹内香織さん（特定非営利活動法人京都子どもセンター 理事長）

☺ [担当] 霍野廣由（京都自死・自殺相談センター）

A-5

自分のルーツって何？ 外国につながる子どもたちの居場所

多文化共生

いろんなルートからみえるルーツ！ 出逢いを活かすコーディネーション

対象 ▶ *外国人支援団体や外国につながる子どもと関わる方
*このテーマに関心のある方

定員30名

近 年、さまざまな外国人の受け入れが急速に進むなかで、その受け入れ体制が問われています。受け入れる側はどんな準備や心構えが必要なのでしょう。また、そもそも特別な準備は必要なのでしょう。

この分科会では、家族で来日した外国人の子どもや、日本に住む外国につながる子どもたちに焦点をあて、今自分たちにできることを探ります。個々のスキルを活かしながらも依存しない場をつくるにはどうすればいいのか、誰がキーパーソンになるのかなど、実際のコーディネーション事例から、居場所のなかで求められる様々な役割について、いっしょに考えてみませんか。

事例発表者・コーディネーター：宇山世理子さん（京都市地域・多文化交流ネットワークサロン 職員）

事例発表者：佐子完十郎さん（ホットフィールド子ども・若者支援ヒューマンネット かんちゃんの小さな家 代表）

☺ [担当] 廣川イヴィ（京都市国際交流協会）／木林愛美（京都市国際交流協会）

A-6

若者力！今こそ、枠を越えた災害ボランティアをコーディネートしよう！

災害・若者

「いまどき」の学生たちによる自発的な被災地支援活動

対象 ▶ *災害支援ボランティアに関心のある大学教職員、学生、支援団体、社協職員

定員30名

多 発する自然災害に際し、大学の枠を越えて災害現場に赴く大学生の姿も多い。今、若者たちはどのような思いで被災地に足を運ぶのか？ 大学やさまざまなセクターはどのようなバックアップができるのか？ 若者の前に立ち塞がる壁とは何か？ 継続して被災地支援を行っている大学や団体、インターカレッジ型の災害ボランティアチームを紹介しながら、さまざまな学生の自発的活動を検証。若者と大人たちが同じテーブルを囲み、今後も起こり得る災害の現場でも「若者力」を生かすボランティアコーディネーションについて論じ合ひましょう！

事例発表者：山口由美子さん（学校法人西南学院 総務部キリスト教活動支援課ボランティアセンター事務室 副課長）

鬼本英太郎さん（ひょうごボランティアプラザ 所長代理）

宮崎猛志さん（特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会(IVUSA) 理事・危機対策研究所長）

災害ボランティアの経験のある学生

コーディネーター：杉浦 健さん（共働プラットフォーム 代表・ボランティアコーディネーター）

☺ [担当] 椎名保友（日常生活支援ネットワーク）

A-7 子どもを真ん中においた地域のレシピ

子ども 子ども支援活動における「まなざし」をひとつにするコーディネート の秘訣

対象 ▶ *子ども支援の現場でボランティアコーディネートに従事している方
*子どもの居場所づくり、学習支援等、実際に地域で活動されている方

定員30名

子ども支援への関心が高まるにつれ、ボランティアとして多くの方が活動に関わるようになりました。そうした中、私たち大人は、子どもたちが本当に必要とする環境（機会・場）を生み出せているのか見つめ直す必要があります。この環境を生み出す要因のひとつは、関係性のあり方。地域の中の、活動の中の、子どもと大人、大人と大人の関係性へアプローチし、よりよい環境を子どもたちと共につくるために、皆さんの日頃感じておられる課題を共有しながら、子ども支援活動のコーディネートと一緒に考え、共に前に進む機会にしたいと思います。

講師：村井琢哉さん（特定非営利活動法人山科醍醐こどものひろば 理事長）
コーディネーター：木村友香理さん（コミュニティ・スペースsacula 代表）

☺ [担当] 松陰律（京都市ユースサービス協会）／村上弘（SOWERS）

A-8 ボランティアは「やりがい搾取」？ 手配師ではないコーディネーターを目指して!!

ボランティア オリパラボランティアを通じて日常のコーディネーションを検証します

対象 ▶ *「ボランティア」の意味について改めて考えてみたいコーディネーター *自身のコーディネートの振り返りをしたいコーディネーター *ボランティアで市民社会をめざしているコーディネーター

定員30名

おそらく多くの人々が応援し、成功させたいと願っているはずの「東京オリンピック・パラリンピック」。それなのに各所様々な批判が噴出したり「やりがい搾取」や「ブラックボランティア」という造語がでたりしています。どうしてこのようなことが起こっているのでしょうか？ 私達は「手配師」ではありません。「やりがい搾取」？ とんでもない！ 今、改めてボランティアの意味を再考し、ボランティアコーディネーターとしての自分自身のあり方を考えます。世の中、「ブラック」な話が多いので、一度そこをしっかりと押さえとこうやありませんか。

ファシリテーター：早瀬 昇さん（社会福祉法人大阪ボランティア協会 常務理事／認定特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会 副代表理事）

☺ [担当] 竹田純子（龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター）／橋詰勝代（高島市社会福祉協議会）／椋木美緒（大阪ボランティア協会）

A-9 施設・団体のボランティアコーディネーション

基礎研修 組織にボランティアを受け入れる基本を身につける

対象 ▶ *ボランティアを受け入れている施設や団体の担当者（担当としての実務経験1年未満程度の方を想定しています） *これからボランティア受け入れを検討している施設・団体の方

定員20名

福祉施設・事業所、病院、美術館・博物館、文化施設、NPO などの非営利組織におけるボランティア受け入れの基本的な考え方や手法と手順、ボランティアコーディネーターの役割などを学びます。

講師：小原宗一さん（認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会 副代表理事）

☺ [担当] 清水由子（岐阜市生涯学習センター／日本ボランティアコーディネーター協会）

**つながり広場
のご案内**
3月2日～3日

JVCC 期間中、会場内に“つながり広場”を開設しています！

出会いと発見がいっぱいです。ボランティアコーディネーションに役立つ情報をご紹介します。みなさまのご来場をお待ちしております！

A-10 中間支援組織のボランティアコーディネーション

基礎研修 「つなぐ」だけで終わらないコーディネーションの基本を身につける

対象 ▶ *中間支援機能をもった組織のボランティアコーディネーターおよび関連スタッフ
(担当としての実務経験1年未満程度の方を想定しています)

定員20名

社会福祉協議会、市民活動センター、NPO 支援センター、大学ボランティアセンターなど、中間支援の役割をもった組織におけるボランティアコーディネーションの基本的な考え方やボランティアコーディネーターの役割と実務を学びます。

講師：唐木理恵子さん（認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会 代表理事）

☎ [担当] 竹脇恵美（長野県長寿社会開発センター木曾支部 / 日本ボランティアコーディネーター協会）

交流会 ボランティアコーディネーター大交流会

交流会 17:30~19:30

全国から集まったボランティアコーディネーターの情報交換・出会いの場です。大いに語り合い、交流を深めましょう！ 講師や事例発表者の参加も予定しています。みなさまのご参加をお待ちしています。

※このプログラムは別料金がかかります。(参加費3,500円)

会場：大谷大学 食堂

2日目 3月3日

B-1 「ボランティアを受け入れる」+「住民と協働する」これからの福祉施設

福祉施設 京都の先駆的な取り組みから学ぶ

対象 ▶ *福祉施設のボランティア担当者 *福祉施設の地域貢献事業担当者、管理職
*福祉施設と協働する諸団体の担当者 *社会福祉協議会の担当者 *関心のある方

定員20名

地域貢献の義務化、地域共生社会実現への取り組みの要請など社会福祉法人を取り巻く環境が大きく変わり、ボランティア受け入れに加え、地域貢献を意識して住民と協働していくことが求められています。しかし、社会福祉法人が運営する施設がどのように新たな実践を展開していけばいいのか明確なモデルはなく、悩みながら取り組んでいるのが現状です。そこで、この分科会では一歩先を行く実践が行われている京都市内の2つの施設の取り組みから、新たな実践のあり方を探ります。福祉施設×ボランティア×地域住民の掛け算のカタチを考えてみませんか。

キーノートスピーチ：小野智明さん（横浜創英大学こども教育学部幼児教育学科 教授）

コーディネーター：岩本裕子さん（関西国際大学教育学部教育学科福祉学専攻 講師）

コメンテーター：妻鹿ふみ子さん（東海大学健康学部健康マネジメント学科 教授）

事例発表者：河本歩美さん（社会福祉法人京都福祉サービス協会 高齢者福祉施設「西院」所長）

片山大海さん（社会福祉法人リガール暮らしの架け橋 地域密着型総合ケアセンター「きたおおじ」サブマネージャー）

☎ [担当] 南多恵子（京都光華女子大学） / 石井祐理子（京都光華女子大学） / 牧野郁（特別養護老人ホームそらの木）
山田篤規（地域密着型総合ケアセンターきたおおじ）

■ボランティアコーディネーションに関する図書販売 ■参加者持ち寄りによるパンフレット等情報設置コーナー

■JVCAコーナー・理事、運営委員によるプチ相談、JVCAの活動紹介、会員マップ等の展示・新規会員受付!!

(集会中に入会されると、その場でJVCC参加費の会員割引 2,000円分をキャッシュバックします!!)

[担当] 日本ボランティアコーディネーター協会

B-2 若者の心に火をつける！

若者 社会問題を自分ごとに変えるコーディネーションを考える

対象 ▶ *学生のボランティアや社会的な活動を支援している人
*学生を主体的な担い手として受け入れたい団体・地域・行政などの人

定員30名

さ まざまな団体が若者を対象としたプログラムを展開する中で、現代の若者が社会問題にふれる機会は増加しています。その一方、トレンドやブームとして社会的に注目されているテーマには若者は集まりやすい傾向がありますが、長いスパンで関わり続ける持続的・継続的な取組は成立しづらくなっています。

本分科会では、社会問題を「自分ごと」と捉え、長期的な視点で活動に取り組んでいる「活動に“ハマった”若者」のリアルな声をみんなで紐解きながら、コーディネーターが若者の心に火をつける関わり方や視点などを考えます。

講師・コーディネーター：川中大輔さん（シチズンシップ共育企画 代表）

事例発表者：社会・地域問題を自分ごとと捉え、活動に取り組んでいる関西の大学生（6名）

☺ [担当] 井上泰夫（京都産業大学ボランティアセンター）／高橋あゆみ（同志社大学ボランティア支援室）

B-3 防災からはじめるまちづくり

防災 「みんなの参加」を促すコーディネーション

対象 ▶ *防災減災に関心のあるコーディネーター

定員30名

地 震、大雨、台風…。今年度も全国各地で様々な災害が発生しました。今後も大きな災害の発生が予想される中、それらに立ち向かうための備えについて、不安を感じておられる方が多いのではないのでしょうか。つながりの希薄化が進んでいると言われる中、外国人、障害を持った方、高齢者等、とすれば、まちのつながりから切り離されてしまう人々は、災害発生時には大変「しんどい状況」に置かれてしまいます。

この分科会では、まちの多様な存在をしんどい状況に追いやる事が無いように、ひいてはみんなが暮らしやすいまちづくりを進めるコーディネーションについて考えます。

講師：横田能洋さん（認定特定非営利活動法人茨城NPOセンター・commons 代表理事）

ハッカライネン ニーナさん（外国人女性の会パルヨン 代表理事）

☺ [担当] 木林愛美（京都市国際交流協会）／杉浦健（共働プラットフォーム）／西誠（佛教大学）

B-4 文化施設が豊かになる“5つ”のこと

文化施設 文化施設のボランティアコーディネーションも大変ですよ！

対象 ▶ *文化施設（博物館・美術館・図書館等）でボランティアの受け入れを担当しているコーディネーター
*ボランティアの受け入れをしている、あるいは検討している公共施設の管理職

定員30名

博 物館や美術館・図書館といった文化施設でボランティアの導入が進んでいます。しかし、文化施設は、ボランティアが最大限の力を発揮しやすい場になっているのでしょうか。

「単純作業をお願いするだけでいいのだろうか…」

「ボランティアが自由すぎて困っている…」そんな悩みを共有しながら、改めて文化施設におけるボランティアコーディネートを一緒に考えてみましょう。

講師：山口洋典さん（立命館大学共通教育推進機構 准教授）

事例発表者：乾聰一郎さん（奈良県立図書情報館図書・公文書課 課長／ビブリオバトル部担当）

西澤真樹子さん（認定特定非営利活動法人大阪自然史センター／なにわホネホネ団 団長）

谷 竜一さん（公益財団法人京都市芸術文化協会／京都芸術センター アートコーディネーター）

☺ [担当] 岡本卓也（まちとしごと総合研究所）／竹内香織（京都市芸術文化協会）／吉田隆真（京都市環境保全活動推進協会）
笠井咲希（京都市環境保全活動推進協会）

B-5 企業が参加しやすい活動をコーディネートするコツ

企業・環境

環境保全活動の事例を基に考えよう

対象 *企業の社会貢献活動を支援するコーディネーター
*企業の社会貢献活動を受け入れるコーディネーター

定員30名

すでに多くの企業が社会貢献活動や社員のボランティア活動の推進に取り組んでいますが、SDGs（持続可能な開発目標）の広がりを受け、今後更に活動を始めたい企業も増えてくると考えられます。その際には、企業側と、地域や団体側のそれぞれにとって意義があり、進めやすいプログラムであることがポイントになるでしょう。

この分科会では、企業や社員が参加している環境保全活動を事例に、企業や社員が参加しやすいプログラムについて考えます。

事例発表者：長屋博久さん（有限会社村田堂 取締役）
鈴木尚樹さん（一般社団法人祇園祭ごみゼロ大作戦 事務局）
コーディネーター：井上和彦さん（京のアジェンダ21フォーラム 事務局長）

[担当] 鹿住貴之 (JUON(樹恩) NETWORK/日本ボランティアコーディネーター協会) / 佐藤 匠 (日本ボランティアコーディネーター協会)

B-6 テンションのあがる↑仕事をするために

協働

組織や活動の持つ「チカラ」を掛け合わせるためのポイントを学ぶ

対象 *団体とどうつないだらいいか悩んでいる人 *連携を進めたいがどうしたらいいか悩んでいる人
*団体間連携に関心がある人

定員20名

ボランティアコーディネーターは、ボランティア団体から運営相談が寄せられたり、時には行政からボランティアに関する相談をされることもあるでしょう。そんなとき、「〇〇団体の△△さんの力を借りられないかな」と思いつくことも。さあつなぐぞ!!と思ったとき、皆さんはそれぞれが大切にしていることや、目的を理解し、達成したいことを明確にしながらコーディネーションをしていますか。

この分科会では、講義と演習でコーディネーションをする際に協働したい相手に何をどう伝えていくのかを学び合います。

講師：石原達也さん（特定非営利活動法人岡山NPOセンター 代表理事）

[担当] 桐澤夏樹(京都市社会福祉協議会) / 永松 学(京都市社会福祉協議会) / 土田恭仁子(宇治市社会福祉協議会)

B-7 お金を集めるのに「ボランティアコーディネーション力」が必要なワケ

寄付

「あの募金」の仕掛け人を大解剖! 「参加の力」でカネを生む?!

対象 *課題解決型NPOスタッフ *ボランティアセンターや市民活動センターなど中間支援組織に関わる方
*共同募金で市民活動を応援したいコーディネーター *市民と協働する自治体職員

定員30名

「小さいNPOが地域でお金を集めるのは難しい……」「活動資金を増やしたくて寄付を募りたいけど、日々の活動に追われていて全然手が回らない……」そんなお悩みは多いのではないのでしょうか?

今回、地域課題解決のためのお金を「みんなで集めてみんなで使う」ことを70年以上やってきた「赤い羽根共同募金」の仕掛け人が、どうやって「みんなで」を生み出しているかを徹底解剖。そこには、地域課題解決のプロセスに、あらゆる人の「参加」を促すボランティアコーディネーションの極意を感じとれること間違いなし! 「まちを良くするためのお金の集め方・使い方」を追究します。

講師・コーディネーター：永井美佳さん（社会福祉法人大阪ボランティア協会 理事・事務局長）

事例発表者：青山織衣さん（社会福祉法人岸和田市社会福祉協議会 地域福祉課地域福祉係長兼ボランティアセンター所長/岸和田地区募金会/認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会 理事）
橋詰勝代さん（社会福祉法人高島市社会福祉協議会）

[担当] 椎名保友(日常生活支援ネットワーク)

B-8 「評価」の視点から日々の実践を解剖する

評価 私たちは何を指し、その達成度をどう測るか？

対象 ▶ *中間支援組織、大学ボランティアセンター、社会福祉協議会など「つなぎ役」としてのボランティアコーディネーションの実践者や「評価」を考えたい方

定員30名

休 眠預金等活用法をはじめ、お金の流れが変わりつつある昨今、助成などでの審査基準として「社会的インパクト評価」の導入が計画されています。活動の「アウトプット」(結果)だけでなく、「アウトカム」(成果)や「インパクト」(社会的変化)も評価しようという動きです。人々の参加による意識や協働関係の変化を生み出すボランティアコーディネーションにとっても、取り組みによる成果や変化が今以上に問われ出すかもしれません。コーディネーターとして、活動の成果を測る/示す「評価」のあり方を、現場の実践に即して考えます。

講師: 津富 宏さん (静岡県立大学 教授/特定非営利活動法人青少年就労支援ネットワーク静岡 理事長)

☺ [担当] 三木俊和 (まちとしごと総合研究所) / 椋木美緒 (大阪ボランティア協会)

B-9 もう「やらされ……」じゃない!

ボランティア ボランティアコーディネーション力で、「やって良かった!」に

対象 ▶ *「ボランティア」の意味について改めて考えてみたいコーディネーター *自身のコーディネートの振り返りをしたいコーディネーター *ボランティアで市民社会をめざしているコーディネーター

定員30名

『町内会が消える?~どうする 地域のつながり』がNHK「クローズアップ現代」で放送されたり、『PTAなんていない!』という発信にSNSで賛同が広がったり、かと思えば「我が事・丸ごと」とさらなる期待もされる…。これまで賛否ありつつも地域の基盤となってきた組織が大きく揺れています。いずれも「やらされ感」の強い組織であり、その変革にはボランティアコーディネーション力が大切!と説く西川正さん(住民の「お客様化」の問題に深く切り込んだ『あそびの生まれる場所』の著者)と、意欲を高めるツボを“ゆる〜く”深掘りします。

講師: 西川 正さん (特定非営利活動法人ハズオン! 埼玉 常務理事、認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会 理事)

コーディネーター: 早瀬 昇さん (社会福祉法人大阪ボランティア協会 常務理事/認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会 副代表理事)

☺ [担当] 池田英郎 (塔南の園児童館)

B-10 制度は変えられる、行政は動かせる

ソーシャルアクション ソーシャルアクションの視点と手法を身につけよう

対象 ▶ *ソーシャルアクションに関心がある方はどなたでも

定員30名

ボランティアセンターやNPOに入ってくる相談は、既存の制度で対応できないものが大半です。またボランティア・市民活動を通して見えてくる新たな社会課題もたくさん。ボランティアコーディネーターはそれらを発信したり、当事者や関係者と共に制度改善や新たな仕組みづくりへのアクションを起こすことが求められます。でも、なかなか実践にうつせていない人が多いのではないのでしょうか。

そこで本分科会では、行政を動かして地域拠点を獲得した事例、共済型病児保育事業を行政に提案・実現した事例等から、これからの私たちの姿勢やアプローチを考えます。

講師: 室田信一さん (首都大学東京人文社会学部 准教授/特定非営利活動法人コミュニティ・オーガナイズング・ジャパン 代表理事・共同創設者)

事例発表者: 高 亜希さん (認定特定非営利活動法人ノーベル 代表理事)

小林博明さん (まちの縁側育みプロジェクトながの 代表/(元)長野市社会福祉協議会地域福祉課長・ボランティアセンター室長)

☺ [担当] 筒井のり子 (龍谷大学/日本ボランティアコーディネーター協会) / 竹田純子 (龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター) 霍野廣由 (京都自死・自殺相談センター)

B-11 メディア、ツールを使いこなせ!

広報スキル ボランティアコーディネーションに役立つ広報術

対象 ▶ *ボランティアコーディネーションに役立つ広報術に関心のある方

定員30名

ウェブサイトやブログ、そしてフェイスブックやツイッター、インスタグラムなどのSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）など、次々と新しいメディアが生まれています。こうしたメディアを地域の課題共有や、ボランティアの募集、イベントの広報などに「うまく活用したい」と考える一方で、「いろいろあってよくわからない」、「難しそう」と二の足を踏んでいる人も多いのではないのでしょうか。

この分科会では、様々なメディア、ツールについて、それぞれの特性を理解し、日々のボランティアコーディネーションに活用する術を学びます。

講師：山田泰久さん（特定非営利活動法人CANPANセンター 代表理事）

☺ [担当] 廣川イヴィ（京都市国際交流協会）／砂原浩二（total sports promotion）

クロージング

京から響く次代の鐘

～その鐘を鳴らすのはあなた～

3月3日（日） 14:00～15:30

クロージング全体会・閉会

研究集会のクロージングでは、2日間の討議内容を総括します。オープニング全体会や分科会で語られた成果や教訓、そして、残された課題や論点について、二人の語り手による対談形式で、会場全体で分かち合います。



深尾昌峰さん



赤澤清孝さん

語り手：深尾昌峰さん（一般社団法人全国コミュニティ財団協会 会長／龍谷大学政策学部 教授）

赤澤清孝さん（特定非営利活動法人ユースビジョン 代表／認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会 理事／大谷大学社会学部 准教授）

☺ [担当] 三木俊和（まちとしごと総合研究所）

総会

JVCA 2019年度 通常総会

3月3日（日） 15:45～17:30

ボランティアコーディネーションを広げる！高める！

～JVCAの1年の活動を振り返り、これからを考える時間です～

総会も参加型で進行するのがJVCA流。

JVCA会員の皆さん、久しぶりにお会いしましょう！しゃべりましょう！

クロージング会場で開催しますので、会員以外の皆さんもそのまま傍聴いただけます。

JVCA とは……



認定特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会
Japan Volunteer COORDINATORS Association

市民の社会参加を支えるプロをめざして

JVCA がめざすもの

ボランティアコーディネーターを専門職として確立することをめざしています

事業・活動の3つの柱

1. ボランティアコーディネーターのネットワークの確立
2. ボランティアコーディネーターの専門性の向上
3. ボランティアコーディネーターの社会的認知の促進

取り組んでいる事業

①情報の収集と提供活動

- ニュースレターの発行
- メールマガジンの発信
- ホームページの運営
- 公式 facebook の運営



②全国研究集会の開催

- ボランティアコーディネーターたちが一堂に会する“全国ボランティアコーディネーター研究集会”の開催



③検定システムの実施

- ボランティアコーディネーションカ1級・2級・3級検定直前研修・検定試験の実施
- ボランティアコーディネーションカ「共催検定」の実施

④研修開催・講師派遣

- ボランティアコーディネーター初任者向け研修の開催
- ボランティアコーディネーター実務研修の開催
- ボランティアコーディネーション関連研修への講師派遣

⑤調査・研究・出版活動

- グッドプラクティス事例集 Vol.1・2の編集・発行
- 生活支援コーディネーター活動ハンドブックの発行
- グッドプラクティス認定に向けてのシステム開発

⑥ネットワークの推進

- 会員メーリングリストの運営
- 会員の交流の場 CoCo サロンの開催支援
- 外部委員の受託
- 国内外の関係団体との連携、協働

JVCA の活動は、会員の参加と会費で成り立っています。

ボランティア受入れや養成担当者、ボランティア活動推進に関わるスタッフ、研究者など、全国各地で約460人のボランティアコーディネーション業務に関わる人たちが加入しています。

詳しくはホームページをご覧ください。

■事務局

認定特定非営利活動法人 **日本ボランティアコーディネーター協会**

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 2-13 末よしビル別館 30D

TEL.03-5225-1545 FAX.03-5225-1563

E-mail : jvca@jvca2001.org <https://jvca2001.org>

参加申込方法

①申込方法

下記ウェブサイトのフォームから申し込みいただくか、裏面の参加申込書をコピーまたはダウンロードし、必要事項をご記入の上、名鉄観光サービス株式会社京都支店まで郵送またはFAXでお申し込みください。

JVCC 2019 [Web ページ] <https://www.jvcc2019.jimdofree.com>

■「WEB早割」の申込みは、**2019年1月25日(金)午後5時まで!**

※WEB早割で申込みいただいた方は、参加費から1,000円を割引きます。郵送またはFAXでのお申し込みの場合は、割引期間内でも上記割引は適用されませんのでご注意ください。

■申込締切は、**2019年2月1日(金)**です。

※確認のため控え(コピー)を保管してください。

※締切日前に定員に達した場合は、その時点で締切とさせていただきますので、お早めにお申し込みください。

②参加費のご送金

参加申込み受付け後、メールまたはFAXで入金手続きのご案内をお送りしますので、参加費等をお振り込みください。

※参加費等の入金をもって、正式な申し込みといたします。

※ご入金後は原則として返金できませんのでご了承ください。

※集会中にJVCAに入会されると、会員参加費との差額をキャッシュバックします!会場内の「つながり広場」で入会手続きをされると、その場で差額2,000円をご返金します。

※宿泊について

宿泊の手配は事務局では行いませんので、各自でお願いいたします。なお、名鉄観光サービス株式会社京都支店、本研究集会参加者向けに「web限定特別宿泊プラン」をご用意しております。詳細は、ウェブサイトのフォームをご覧ください。

【京都ガーデンホテルまたはハートンホテル京都またはホテルギンモンド京都】

会場最寄の北大路駅より地下鉄烏丸線で8分の烏丸御池駅より徒歩圏内

宿泊設定日・料金：シングルルーム1泊朝食付き

3月1日(金)泊9,500円、3月2日(土)泊11,500円、3月3日(日)泊9,500円(すべて税サービス料込み)

★参加申込書に関する個人情報の取り扱いについて

※裏面の参加申込書にご記入いただいた個人情報は、本研究集会の開催に必要な連絡調整、担当実行委員・講師への告知、今後の本研究集会と日本ボランティアコーディネーター協会の事業のご案内のみの目的で使用します。

●ただし、参加者同士の交流のために、氏名、都道府県、所属団体、参加分科会は「参加者名簿」に掲載し、全参加者・全スタッフに配布します。

●参加される分科会によっては、本要項に明記されていない場合でも、事前アンケートをお願いしたり、事前にメーリングリストが設定されることがあります。

問い合わせ先

**全国ボランティアコーディネーター研究集会 2019 京都
実行委員会事務局 (NPO 法人ユースビジョン内)**

〒603-8142 京都府京都市北区小山北上総町4-3-4 相井ビル2階

Tel : 075-286-3400 Fax : 075-320-3714

Email: jvcc2019@youthvision.jp

URL : <https://jvcc2019.jimdofree.com>

参加 申込書

■郵送：〒600-8492 京都市下京区四条通新町東入月鉾町 62 住友生命京都ビル6階

■FAX：075-255-8511

郵送及びFAXの宛先は、いずれも「名鉄観光サービス株式会社京都支店 JVCC2019 担当」。

★すべて必須項目です。太枠内を正確かつハッキリとご記入ください。

ふりがな			<input type="checkbox"/> 女	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> JVCA 正会員 <input type="checkbox"/> JVCA 準会員
名前		歳代	<input type="checkbox"/> 男	<input type="checkbox"/> ボランティアコーディネーションカ1級検定合格 <input type="checkbox"/> ボランティアコーディネーションカ2級検定合格 <input type="checkbox"/> ボランティアコーディネーションカ3級検定合格
所属団体 (正式名称)				役職・担当
連絡先	(〒 -) 都道			
<input type="checkbox"/> 職場	府県			
<input type="checkbox"/> 自宅	TEL	携帯電話		
	FAX	E-mail		

あなたが、ボランティアコーディネーションに関わった年数	年 月
あなたの活動形態	<input type="checkbox"/> 専任でボランティアコーディネーション業務を担当 <input type="checkbox"/> 以前、担当していた <input type="checkbox"/> 兼任でボランティアコーディネーション業務を担当 <input type="checkbox"/> 担当したことはない
あなたの所属団体の活動分野 もっとも近いものを1つ選んで下さい。	<input type="checkbox"/> 社会福祉 <input type="checkbox"/> 保健・医療 <input type="checkbox"/> 社会教育 <input type="checkbox"/> 青少年育成 <input type="checkbox"/> 環境保全 <input type="checkbox"/> 学校関係 <input type="checkbox"/> 国際交流・協力 <input type="checkbox"/> 男女共同参画 <input type="checkbox"/> まちづくり <input type="checkbox"/> 災害救援 <input type="checkbox"/> 企業関係 <input type="checkbox"/> 中間支援(ボランティアセンターなど) <input type="checkbox"/> 国・自治体 <input type="checkbox"/> その他()
JVCCへの参加回数	<input type="checkbox"/> 初めて <input type="checkbox"/> 2回目 <input type="checkbox"/> 3回目 <input type="checkbox"/> 4回以上

▼参加希望分科会 ※必ず第3希望までご記入ください。

		分科会番号	参加の動機(分科会決定時の参考としますので、できるだけ詳しくご記入ください。)
3月2日(土)	分科会A	第1希望:A-	
		第2希望:A-	
		第3希望:A-	
3月3日(日)	分科会B	第1希望:B-	
		第2希望:B-	
		第3希望:B-	
交流会 3月2日(土) <input type="checkbox"/> 参加(参加費3,500円) <input type="checkbox"/> 不参加			

▼参加費 一般12,000円(WEB早割11,000円)、JVCA正会員・準会員10,000円(WEB早割9,000円)

あなたの参加費は・・・	研究集会参加費	交流会参加費	合計
(★ご自身でご記入下さい)	円	円	円
+ =			

特に配慮が必要な点があればご記入下さい：車いす利用 その他()

事務局 記入欄	受付日	受付連絡日	入力日	通知発送日	3/2分科会	3/3分科会	交流会		
------------	-----	-------	-----	-------	--------	--------	-----	--	--

※郵送の場合は、コピーしたものを送りください。本紙は保管してください。